

堺市農業振興ビジョン【第4期】 の策定に向けた状況整理

堺市農業振興ビジョン【第3期改定版】の概要



▶実施期間

第3期（平成29年度～平成38年度）の10年間のうち令和4年度～令和8年度の5年間

▶位置付け

「堺市基本計画2025」「堺市SDGs未来都市計画（2021～2025）」を上位計画とする。
「都市農業振興基本法」における地方計画（市全域）

▶堺市が都市農業を振興する意義

地産地消を原動力とした好循環を生み出すことによって、都市と農が共存し、市民全体で共感する豊かな都市農業の実現をめざす。

▶3つの将来像と基本姿勢

基本姿勢「地産地消の推進」

将来像①「地域経済へ貢献する農業」

将来像②「市民の暮らしを豊かにする農業」

将来像③「都市の環境を支える農業」

▶将来像の実現に向けた戦略

戦略①：食と農を支える地域連携強化

戦略②：持続可能な農業の振興

戦略③：魅力的な都市農空間の形成

堺市農業振興ビジョン【第4期】の基本事項



目的	関連計画や直近の取組状況をふまえ、令和9年度以降の方針を明確にし、今後の農政の展開を図る。
上位計画	堺市基本計画2030 堺市SDGs未来都市計画（2026～2030）
法的位置づけ	「都市農業振興基本法」に基づく地方計画 「六次産業化・地産地消法」に基づく促進計画
計画期間	令和9年度～令和18年度（2026年度～2035年度）の10年間 ただし、目標設定等の内容に応じて5年を目処に設定

堺市農業振興ビジョン【第3期改定版】



- ✓ アンケート調査（実施中）
- ✓ これまでの成果の検証
- ✓ 最近の動向の整理
- ✓ 課題の整理
- ✓ 重点施策・目標の設定



**農業経営基盤強化促進法に基づき
令和7年3月に策定された「地域計画」**

* 地域計画の対象は市街化区域を除く
堺市農業振興ビジョンの対象は市全域

堺市農業振興ビジョン【第4期】

■施策『次世代につなげる農業の促進』

新技術の導入や農業後継者の確保を図ることで農業従事者の高齢化による担い手の減少をはじめとする課題への対応や地産地消の推進など地域に根差した都市農業を振興する。

■現状・課題

- 本市は大阪府内で農業産出額が1位であるなど農業が盛んな地域であり、都市部への流通距離が短いことを強みとして鮮度を活かせる軟弱野菜等を中心に生産が行われている。地産地消を推進するため、地域ブランド「堺のめぐみ」の対象品目の拡充や飲食店・学校での堺産農産物の利用促進、直売所や小売店等での購入機会の確保・充実等に取り組んでいる。2024年度時点において「市内で採れた食材を食べている」と答えた人の割合は59.6%であり、都市と農が共存する豊かな都市農業の実現に向けて地産地消を一層推進する必要がある。
- 本市では新規就農者支援相談窓口を設置し就農に向けて相談内容に応じた助言や農地の紹介等を行うほか、就農後も段階的な支援に取り組んでいる。また農業用施設等の整備支援や超省力・高品質生産を実現するスマート農業を推進するほか、農業の将来のあり方を示す計画を市内13地域で策定し必要な取組を明確化している。本市の基幹的農業従事者（自営農業を主な仕事としている世帯員）は65歳以上が約70%を占めるなど高齢化が進んでおり、担い手不足が今後深刻化する可能性がある。加えて近年は気候変動の影響や燃料費・肥料の高騰等により農業経営を取り巻く環境が厳しさを増しており、地域の実情を踏まえ持続可能な農業振興に取り組むことが重要である。

■ 取組の方向性

【地産地消の推進】

- 「堺のめぐみ」「泉州さかい育ち」のブランド力向上をめざし発信を強化するなど知って選んで食べることにつながる取組を推進
- 小売店のほか小中学校給食や地域の飲食店等における堺産農産物の利用を促進
- 堺産農産物を活用した加工品等の新たな商品や事業の創出など多様な利用と消費の拡大を支援

【持続可能な農業振興】

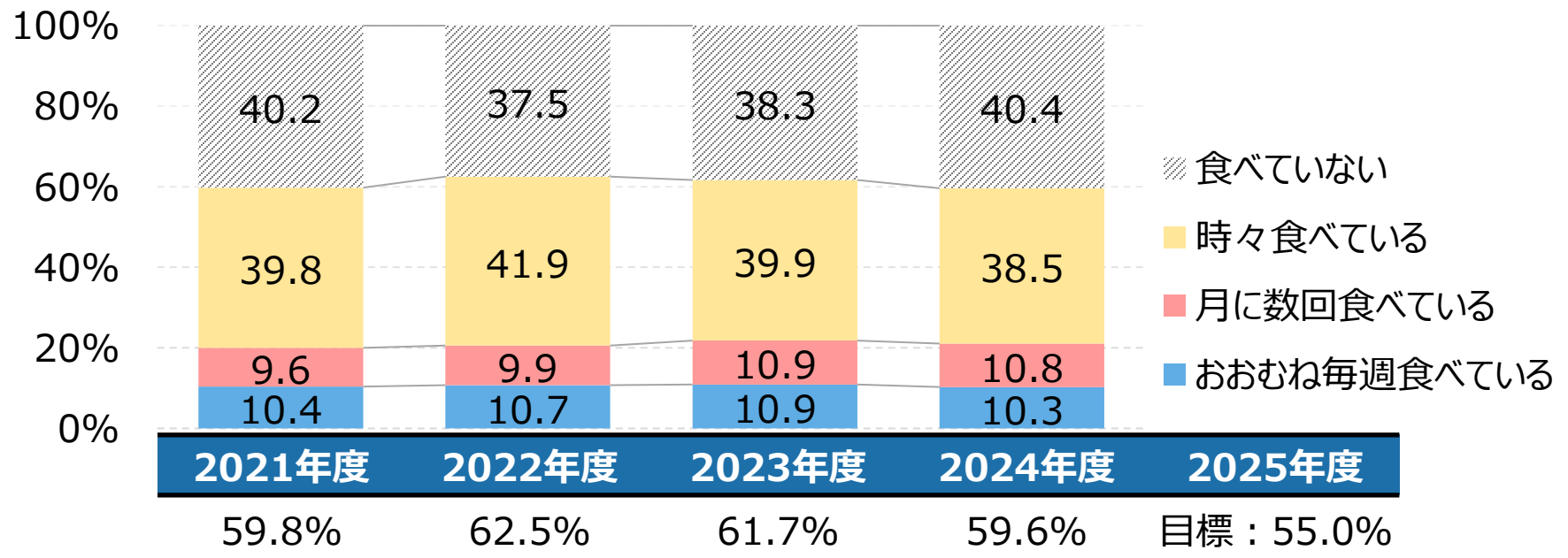
- 農業の将来のあり方を示す計画に基づき、規模拡大をめざす農業者や新規就農者に対し農地の情報提供やマッチングを実施し、利用集積・集約化や遊休農地の発生防止・解消を図るなど地域の実情を踏まえ農地利用の最適化を推進
- 新たな担い手となる新規就農者の発掘のほか、農業後継者の円滑な経営継承と規模拡大、更には地域の中核的な農業者へ成長するよう支援
- 品質向上に加えて農業の省力化による経営効率や就農環境の改善を図るため、ICTやロボット技術等の導入を促進
- 農業由来の温暖化物質の削減や資源の地産地消を図るため、化学肥料や化学合成農薬に過度に頼らない環境に配慮した農業の普及を促進
- ため池・水路・ゲート等の農業用施設の適正管理のほか、防災・減災対策や多面的機能を維持・発揮するための取組を支援

■ KPI（重要業績評価指標）

指標名	現状値		目標値（2030年度）
市内で採れた食材を食べていると答えた人の割合（概ね6か月以内）	59.6%	2024年度	65.0%

※「堺市基本計画2030」は堺市議会に議案を提案中のため、記載内容は変更が生じる可能性があります。

（参考）KPIの推移



ゴール、 ターゲット番号	KPI
 2.3 2.4	指標：市内で採れた食材を食べていると答えた人の割合（概ね6か月以内）
	現在（2024年度）： 59.6% 2030年： 65.0%

*堺市基本計画2030との一体的な管理を行うKPI

■ 2030年のゴール実現イメージ

- 安全安心な堺産農産物が市民の食卓を豊かにしている。
- 持続可能な都市農業の担い手が育っている。

■ 主な取組 ※（ ）はゴール内で対応するターゲット

- 地産地消の推進（2.3, 2.4）
- 堺産農産物のブランド化（2.3, 2.4）
- 農業経営の基盤強化、スマート農業の推進（2.3, 2.4）
- ため池等の適正管理と多面的機能の維持への支援（2.4）
- 農地利用の最適化の推進（2.4）
- 環境に配慮した農業の普及（2.4）

策定スケジュール

